陸上自衛隊高田駐屯地

駐屯地の沿革

昭和25年	山形県神町より警察予備隊第4連隊の先発隊高田に到着
昭和25年	第4連隊が霞目、特科第20連隊が神町から移駐し、駐屯地として開設
昭和28年	第2連隊が松本から移駐し第2普通科連隊に改編
昭和37年	第107施設大隊が勝田（現ひたちなか市）から移駐
昭和47年	第107施設大隊が廃止され第5施設群新編
平成12年	駐屯地司令交代（2普連長→5施群長）
平成13年	第12師団の改編に伴い第2普通科連隊改編 第1普通科直接支援小隊新編 第5施設群第353施設中隊が松本から移駐
平成14年	第5施設群改編 第2施設直接支援中隊新編
平成16年	第307施設隊・第2直接支援隊新編
平成23年	第307施設隊・第2直接支援隊、宇都宮へ移駐
平成28年	第5施設群改編（6個中隊から4個中隊へ）

駐屯地部隊紹介

第5施設群

各種施設器材をもって、障害構成・処理、陣地構築、渡河等の作業を行います。

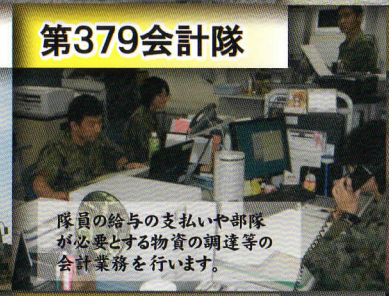
第2普通科連隊

地上戦闘部隊として機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。

第102施設直接支援大隊
第2直接支援中隊

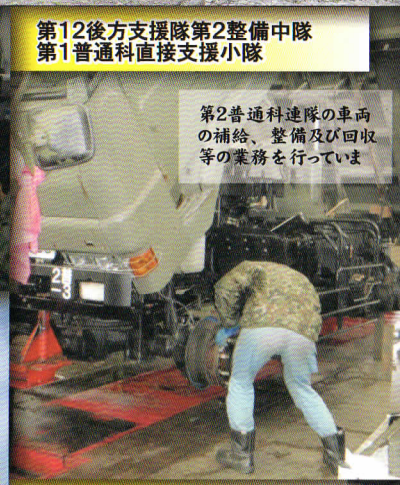
第5施設群の「施設器材・車両・火器・通信」各種装備品の整備・回収支援を行います。

第379会計隊



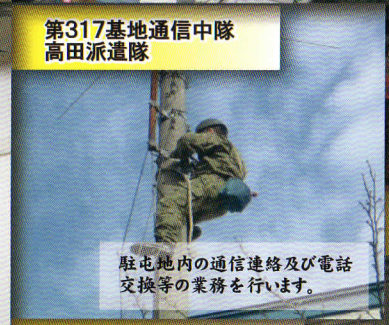
隊員の給与の支払いや部隊が必要とする物資の調達等の会計業務を行います。

第12後方支援隊第2整備中隊
第1普通科直接支援小隊



第2普通科連隊の車両の補給、整備及び回収等の業務を行っていま

第317基地通信中隊
高田派遣隊



駐屯地内の通信連絡及び電話交換等の業務を行います。

第125地区警務隊
高田派遣隊

地区警務隊の本部を相馬原に置き、新潟県の南半分を担当区域として、部内の規律維持に寄与しています。

新潟地方協力本部
高田駐屯地援護室

定年退官者・退職自衛官に対し、再就職活動を援護したり紹介等を行っています。

高田駐屯地業務隊

食事の提供、弾薬・燃料・被服の交付、施設の管理及び医務・福利厚生業務を行います。

第５施設群

第５施設群

本部管理中隊 | 第３９２施設中隊 | 第３９３施設中隊 | 第３９４施設中隊

施設科

戦闘部隊を支援するため各種施設器材を持って障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材の整備等を行います。

旧軍では「工兵」といわれる職種、陣地を作り、橋を架け、道路を作り広く各部隊を支援する。近年はPKO部隊で活躍

主要装備品

車両等

小型トラック　中型トラック
大型トラック　特大型ダンプ

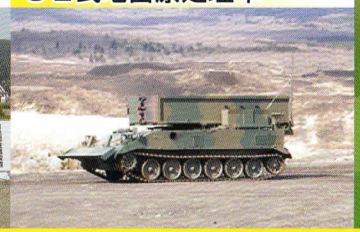
施設器材

中･大型ドーザ　油圧ショベル
８１式自走架柱橋　装甲ドーザー
９２式地雷原処理車

油圧ショベル

８１式自走架柱橋

９２式地雷原処理車



高田駐屯地業務隊

- 総務科
- 管理科
- 補給科
- 厚生科
- 衛生科

駐屯地施設の維持管理、所在部隊の給食、入浴、補給等を支援する部隊

第２普通科連隊

第２普通科連隊

本部管理中隊 | 第１中隊 | 第２中隊 | 第３中隊

普通科

地上戦闘の骨幹部隊として機動力、火力、接近戦闘能力を有し、作戦戦闘の重要な役割を果たします。

旧軍では「歩兵」といわれる職種、小銃等をもって戦闘。近年では多様な火器を使用し戦闘力が向上

主要装備品

車両等

小型トラック　高機動車
大型トラック等　軽装甲機動車

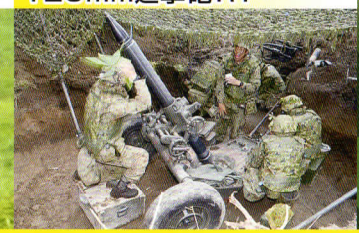
火砲・誘導武器等

８１mm追撃砲L16　120mm追撃砲RT
９１式携帯地対空誘導弾発射装置
０１式対戦車誘導弾発射装置
中距離多目的誘導弾

軽装甲機動車

中距離多目的誘導弾

120mm迫撃砲RT



第12後方支援隊第2整備中隊
第1普通科直接支援小隊

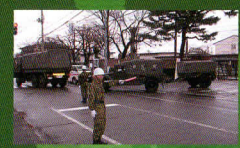
第2普通科連隊の整備等を支援する部隊

第317基地通信隊
高田派遣隊

駐屯地の通信の運営、維持管理等をする部隊

第102施設直接支援大隊
第2直接支援中隊

第5施設群の整備等を支援する部隊



第125地区警務隊
高田派遣隊

犯罪調査、高官の警護等をする部隊

第379会計隊

隊員の給与、物資の調達をする部隊

訓練風景

指揮所構築

偵察訓練

積雪地訓練

災害派遣

熊本地震

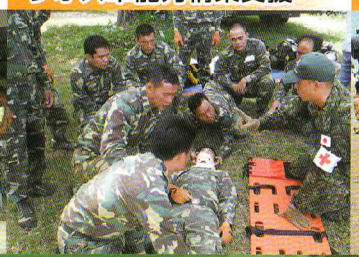
鳥インフルエンザ

糸魚川大火

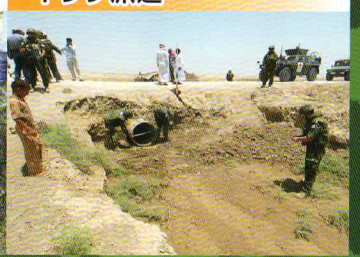
国際派遣等

パシフィックパートナー

ラオス軍能力構築支援



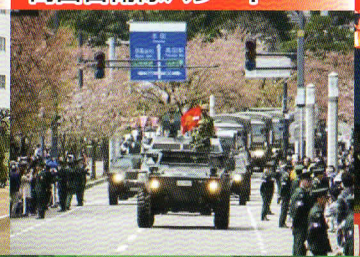
イラク派遣



各種行事・支援等

創設記念行事

高田自衛隊パレード



駐屯地盆踊り

技術力の発揮（架橋訓練）

日本の代表として（イラク派遣）

即応（東日本大震災）

部隊の威容を発揮（駐屯地記念行事）

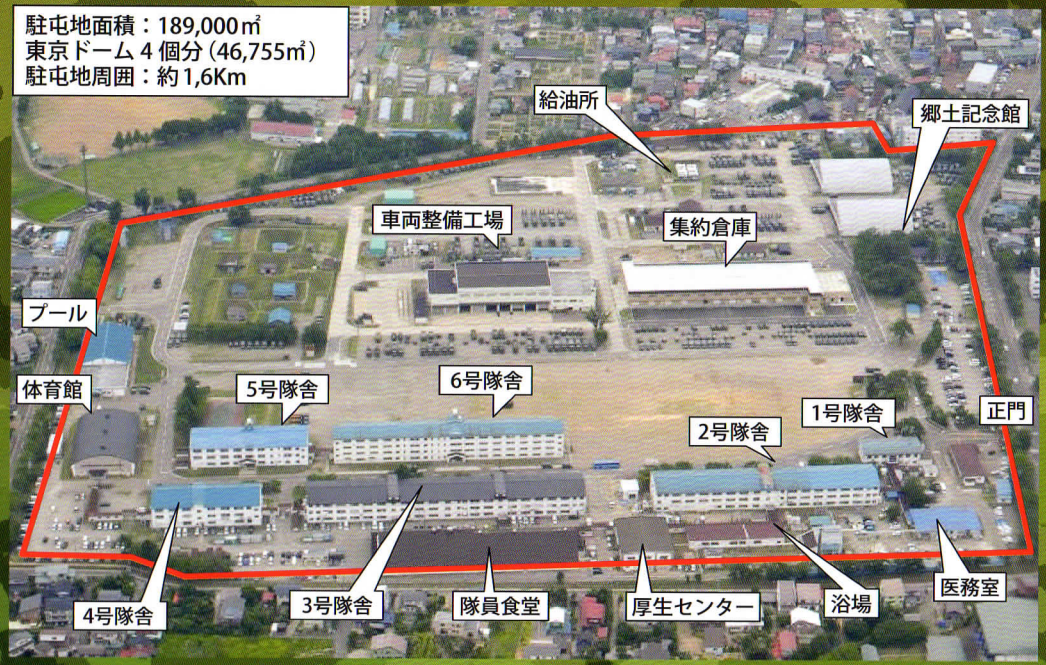
火力の発揮（迫撃砲射撃）

躍動（バイアスロン）

民生支援（長野オリンピック）

地域とともに（盆踊り）

駐屯地面積：189,000㎡
東京ドーム４個分（46,755㎡）
駐屯地周囲：約1,6Km



駐屯地の沿革

年	駐屯地等の状況
明治 41年	野砲兵第19連隊営舎として開設
昭和 25年	第4連隊が霞目、特科第20連隊が神町から移駐し、駐屯地として開設
昭和 28年	第2連隊が松本から移駐し第2普通科連隊に改編
昭和 37年	第107施設大隊が勝田（現ひたちなか市）から移駐
昭和 47年	第107施設大隊が廃止され第5施設群新編
平成 12年 4月	駐屯地司令交代（2普連長→5施群長）
平成 13年	第12師団の改編に伴い第2普通科連隊改編 第1普通科直接支援小隊新編 第5施設群第353施設中隊が松本から移駐
平成 14年	第5施設群改編 第2施設直接支援中隊新編
平成 16年	第307施設隊・第2直接支援隊新編
平成 23年	第307施設隊・第2直接支援隊、宇都宮へ移駐
平成 28年 3月	第5施設群改編（機能別改編 6コ中隊→4コ中隊）

■ 駐屯地内旧軍と現在

旧軍時代の正門

現在の正門

94式山砲

120mm迫撃砲

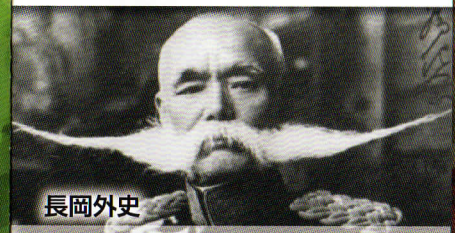
旧軍の冬季訓練

積雪地訓練

高田駐屯地は、北に日本海、南西部に秀峰妙高山を望む、風光明媚な上越市に所在しています。この地は戦国武将上杉謙信公ゆかりの地、また松平忠輝公の60万石の城下町として全国に知られ、明治41年、旧陸軍第13師団が入城以来、軍都として栄えてきました。駐屯地は、昭和25年警察予備隊の創設に伴い旧軍山砲兵第19連隊跡地に開設されました。以来、謙信公から受け継ぐ「義」の精神のもと、日々教育訓練に励んでいます。

また、イラク復興支援をはじめとする数々の国際貢献活動、東日本大震災や中越地震（16.10.23）中越沖地震（19.7.16）等の災害派遣に従事するとともに長野オリンピック、トキめき新潟国体等の各種競技会を支援しました。また駐屯地としてもスキー競技会において天皇杯獲得（21.3.25）、持続走はニューイヤー駅伝出場（22.1.1、24.1.1）の輝かしい成果を収め、旧陸軍第13師団が入城以来、市民から信頼される郷土部隊としてその名を高めています。

駐屯地ゆかりの人物


長岡外史

第３代１３師団長として着任し、スキーを軍隊に初めて導入、民間にも普及し高田を我が国のスキー発祥の地とした。

秋山好古

「坂の上の雲」の主人公の一人で「日本騎兵の父」と呼ばれ、第４代第１３師団長として着任していた。

蒋介石

初代中華民国総裁で当時野砲兵第19連隊に隊付勤務として配置されていた。

郷土記念館

郷土記念館は見学もできます。
見学申し込みは駐屯地広報班までお問い合わせください。

駐屯地マスコットキャラ「がいしくん」

アクセス 高田駐屯地

住所／上越市南城町３－７－１
☎ 025－523－5117　内線 202・207（広報班）

高田駐屯地　検索